

# 《 高知女子大学看護学会誌投稿規程》

## 1. 投稿者の資格

投稿論文の筆頭研究者は、本学会員に限る。但し、共同研究者はこの限りではない。また、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

## 2. 原稿の種類

1) 原稿の種類は論壇、総説、原著論文、研究報告、資料、その他であり、その内容は以下のとおりとする。著者は原稿にその種類の何れかを明記するものとする。

- (1) **論 壇**：看護実践・看護教育・看護管理、看護の動向などについての提案や提言
- (2) **総 説**：過去に報告された研究・調査論文の総括、解説
- (3) **原著論文**：研究が独創的で、新たな看護学の知見が得られ、論理的に記述されている論文
- (4) **研究報告**：調査や実験などの研究結果を系統的に記述し、看護学の発展に寄与する論文
- (5) **資 料**：看護に関する記録上重要なもの、調査や事例から得られた結果をまとめた記録・報告

2) 投稿論文は、未発表あるいは未投稿のものに限る。また、本誌投稿中、他誌への投稿をしてはならない。

## 3. 投稿手続き

1) 原稿は、封筒の表に「高知女子大学看護学会誌原稿」と朱書し、下記に書留郵送する。

〒781-8515 高知市池2751-1  
高知県立大学看護学部内  
高知女子大学看護学会編集委員会

- 2) 投稿原稿は3部を送付する。うち2部は、執筆者が特定される氏名、所属、謝辞などの記載箇所は空欄にする。
- 3) 投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。

## 4. 原稿の受領および採否

- 1) 原稿の受付日は編集委員会が原稿を受け取った日とし、受付を電子メールで送付する。
- 2) 原稿の採否は複数査読をへて編集委員会で決定する。  
採用に際し、原稿の修正および種類の変更を求めることがある。
- 3) 原稿採用の決定後、本文および図表はフロッピーやフラッシュメモリ等電子媒体に保存して提出する。

## 5. 著者校正

著者校正を1回行う。但し、校正の際の加筆は原則として認めない。

## 6. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則としてワードプロセッサで作成する。最終原稿とともにフロッピーやフラッシュメモリ等電子媒体の提出を依頼する。
- 2) 投稿原稿の種類を問わず、A4判横書きで、1行の文字数を40字、1ページの行数を35行とし、適切な行間をあけ、10枚以内（図・表を含む）とする。
- 3) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない術語などは原則として活字体の原綴で書く。
- 4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文原稿の右欄外に、それぞれの挿入希望位置を指定する。本誌掲載の希望サイズで作成する。

5) 文献記載の様式

- (1) 引用文献は、本文の引用箇所の肩に1)、1)～4)など番号で示し、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する。参考文献は、著者名のアルファベット順に列記する。
- (2) 記載方法は下記の例示を参考にする。
  - ① 雑誌の場合……著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、頁、西暦年次。
  - ② 単行本の場合…編著者名：書店(版)、頁、発行所、西暦年次。
  - ③ 訳本の場合……原著者名：書名(版)、発行年次、訳者名、書名、頁、発行所、西暦年次。

6) 原稿には、表紙を2枚付け、1枚目の上半分には表題（和文・英文）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名、図、表および写真などの枚数を書き、日本語キーワード4個以内を記す。下半分には赤字で希望する原稿の種類、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項および連絡者の住所氏名、電話番号、メールアドレスを付記する。2枚目には表題（英文・英文）のみを記載する。

7) すべての投稿論文には、必ず400字程度の和文抄録をつける。原著の場合は、和文抄録に加え、英文抄録250語

程度をつける。ただし、すべての原稿の種類で英文抄録の掲載が可能である。

7. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲 載 料 規定枚数を超過した分については、所要経費を著者負担とする。
- 2) 別 刷 料 別刷は全て実費を著者負担とする。
- 3) そ の 他 図表等、印刷上特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

8. 掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。

附 則

1. この規則は、平成9年9月1日から施行する。
2. この規則の改正は、平成11年6月19日から施行する。
3. この規則の改正は、平成18年7月8日から施行する。
4. この規則の改正は、平成22年5月8日から施行する。
5. この規則の改正は、平成23年6月19日から施行する。